京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●朝鮮酒の話（度支部島井技師談）

▲醸造の手續　生其まゝの小麥を舂き碎いて濁酒、藥酒、燒酎と夫れ〲需用の向きに粗擢き若しくは粉末に舂き別けるのでありますが其碎いた麥粉を水で練り固め曲子といつて餅麯の樣な型に掛て置き夫で入用の時に相當の蒸米と共に水に和し醱酵させるので頗る手輕なものです

▲經濟的の大缺點　造り方の無雜作なのと機械の不完全なるため夫で御話にもならない不經濟をやつて居ます其の主なる點を擧げますと第一原料を生のまゝ使ふ事二に麯を使ひ過る事三に器械や操作の拙劣いためアルコール分の三分の二迄も失ふ事であります其他工程に於て曲子を造る時に一日七人の大男がやッと八百個を練り上る杯は御話にもなりません

▲日本酒成蹟の比較　韓酒一升の甑の中には二合乃至二合二三勺のアルコールを含で居ますが日本酒の方では高が一合乃至二合八勺しかありません大變の違差で夫でフューゼル酒が出來ないのです其他濁酒では四乃至五パーセント普通藥酒は十二三パーセントのアルコールを含で居ます

▲改良　唯今では從來の習慣を源といたしまして自家用風に適合する樣に蒸溜器や何やかや成る丈は今日の民智の度に當て嵌る樣にと研究して居りますが機械も夫々出來ましたので今は試驗最中です（終）

●租税金納の由來

韓國の租税は元來物納なりしを開國五百四年に金納に改められたるものなるが當時總歳入豫算は四百八十萬九千四百十元にして内租税以外收入二百五十一萬百七十七元租税收入二百二十九万八千三十三元にして本年度の同豫算は二千一百四十三萬四千七百廿三圓内租税收入千四十六萬八千二百二圓其以外の收入千九十六萬六千五百二十一圓なりと云ふ

●寧越歸客談

江原道の邊境寧越より歸來せし者の談に依れば同地の産物は煙草と木材とを主とせるが木材多き爲め漢江上下の河船など同地にて製造さるゝもの多く今年船卸ろしせるもの八十艘に上れり▲貿易は鹽を以て雜穀に換ゆる習なるが鹽用舍桝一斗に對し大豆三斗小豆雜豆一斗五升純赤豆一斗位▲森林には檜、樅、櫟等多きも海岸は濫伐され深山にのみ繁茂せり其他に松樹多し▲穀類は平野二分山八分の地にして平野の八分は畠にして二分のみ水田の割合なれば黍、玉蜀黍、粟、麥、小麥、燕麥、蕎麥、大豆、小豆、馬鈴薯等にして水田も其七分のみ民有たるに過ぎざれば米の産額は六千石にして八口三萬人に割當て一人一年の食量僅かに五升に過ぎず是れすら近時討伐隊官吏の來るものに供するを以て人民の米食は殆んど出來難く祭祀用にさへ事缺く位なり▲山葡萄極めて豐富なるを以て利用法を講せば可なるべく▲人民は質朴にして平穩無事なるも近來夫役の頻々たるには疲弊の色あり

俳句

●第五回六句集　すみれ會　むら判

▲百合（結字同斷）

山百合や淸水流るゝ松の間ひ　天心
姫百合や誰か好みての植ゑ所　やつこ
やゝ暫時手折兼たる野百合哉　中庸
百合一本夕風かろき野山かな　天心
乘物や野百合參らすれ小休み　月哉
妻にして見たき野百合の姿哉　淡水
山茅の叢は爛んだ野百合かな　秋花
咲迄は草に互したる野百合哉　淡水
手向べく尼の採來る野百合哉　月哉
高樑が胸、挿たる野百合かな　秋花
白百合を尊く見るや五十鈴川　月哉
夕空に鐘の餘韻や百合ばたけ　謝

◎秀逸

旅僧の野百合手花けつ濡れ佛　月哉

◎自句

天の星野に咲く之を百合と云　むら

中山大納言

第四十六席　桃川燕演玉

所が是が鷹司資平公などの御耳に入つて容易ならぬ大事件と云ふ所から、遂に事發覺をして關東所司代の耳に入り、關東將軍へ之を達し、此一件に係はりました公卿方は或は蟄居乃至閉門と云ふ、ばた〲御處分になつたが、尤も天朝へ對して御遠慮がございまするから罪と云ふものはごく輕くして竹内式部に於ては、言はゞ其發頭人でございまする、謀反に似て謀反に非ずと云ふ裁判で、今日で云ふ證據不充分不得要領で竹内式部は三箇の津御構ひと云ふことで此一件は濟みました、之を寶曆の疑獄と云ふ、まア極く事は輕く濟んだ、竹内式部は元と財産は澤山ある人、大坂の鴻の池善右衛門へ莫大な預金がある、之を引出せば決して差支はない、三箇の津と云へば京、大坂、江戸だ、江戸を前に構はれて、今京大坂を構はれ、日本六十六ヶ國、一年に一箇國づゝ構はれた所が、先づ己が八九十になる迄は大丈夫遊べると云ふ所から平氣なものだ。貴島閑齋の娘初江を妻に申受けまして之を連て諸國遊覽と出掛けた、是は表向きで内心には、一度やり損つたが此儘には止むまい、我が一生の中にはどうか德川の幕府を倒して王政復古の榮を見やうと云ふ勇心は勃々として胸に溢れて居る。されば此事露顯を致しまして二十四名の公卿方が御處分になつた時に同士の中に正親町大納言の家來藤井山城守と云ふ者が學問も秀で武術にも長け膽力の勝れて居る竹内式部が股肱と頼みました此山城守を『御身は今の内に都を脱して斯う〲しなさい』と云ふ已の意中を告ましたるから式部が都を立退く前に、山城守は京都を出奔をし、名前を右門と改めまして、緒方庄八と云ふ自分の家來を連れて、此人は甲府へ參りまして、龍王新町と云ふ處へ足を留める女を一人傭ひました、是が妾、三人暮し、元と都に居りまして學問は出來まするが、取分けまして此易術に達して居りまするから賣卜者に化けて藤井右門と云ふ易學の看板を出し、金は澤山ございまするから氣易く暮して居ります、隣家に山縣齋と云ふ人がある、武田信玄の四天王の山縣三郎兵衛昌景の子孫で澤山に田畑を持つて不足なく今日を暮して居りまする、處の人は之を御浪人と唱へますのは、昔武田の家來、大層の幅の利いたものだ、御浪人樣、何か寄合でもムいますると其御浪人と云ふ人は何時でも上席に座つて切盛をしやうと云ふ、何時となく藤井右門が齋と懇意を致し暇さへ有ると碁などを圍みまして樂む、或一日の事山縣齋が『拙藤井先生、あなたはどうも失禮だが御若年には似合はぬ御出來なさるな　右『何がです　齋『イヤ易術をあなたは看板に出して今日を送らつしやるが、失禮ながら賣卜者で生涯終らつしやる御人物ではない、どうも御樣子を見た所が武術の御嗜みも有りなさる樣子、學問もなか〲申しては失禮だが餘程出來なさる此甲府も惡い處ではないが、何しろ天下に名を成す所ではない、此處に居る士は皆德川家の厄介者ばかり寄つて居る、甲州へ行くは衛衛（武鑑）のなり下りと云つて、何か身に不埒のあつた仕方のない士ばかり甲府詰になる、惡い事は知つて居るが扨文武の二つ何にも嗜では居ない、斯んな處に其許が御居でなすつたつて所詮あなたの器量を見拔く者はない、何時迄經つても賣卜者だ、天下に大名を成すは大都會に限る、遠くもない、江戸へ一つ御出掛けになつてはどうだ、あなたの器量で江戸へ御出掛けになれば、忽ち天下に名を知られる、どうも此草深い甲府の龍王新町邊りに御置き申すのは、如何にも惜しい　右『是はどうも大層な御賞美に預り甚だ面目次第もない、それ程手前は何にも出來は致さぬが住まば都と云ふ、拙者もならば大都會へ、出たいと云ふ考へは無きにしも非ずだが、廣い江戸表に知る人が一人もない、夫れがまア斯樣な處に居るのだ、先生江戸に知る人でもおらつしやるなら御添書でも戴いて、拙者も何時か江戸へ參つて見たいが、御懇意の方が御有んなさるかナ　齋『イヤ藤井先生、其思召があるなら手前が早速書面を差上げる　斯樣申すと何だか自慢を致すやうにあなたが御笑ひなさるか知らぬが、決して左樣な次第ではない、拙者の舍弟大貳と申す者一時或御諸侯に御抱へになつて、百石戴いたが、百石や二百石で一生縛られるも殘念、浪人が宜いと云つて到頭浪人をして、四谷に暫く居つて、只今では八丁堀の長澤町と云ふ處に住居を致し、漢學兵法茶の湯活花總て種々な事を指南をする只今では門人も千人以上あり、大層有福に暮して居る、拙者なぞゝ違つて是はどうもまだ年は若しなか〲出來ます、どうです藤井先生、拙者の弟大貳の許へ書面を差上げる、一つ江戸へ御出でになつて一ト花御咲かせなさい、拙者なぞはもう年を取つて、所謂淸風殘月を友として一生を氣樂に送る方だが、拙の弟はなか〲話對手になる隨分面白い人物、此れへ御出でになつてはどうだ、

東京電報

▲六師團長着任　新任駐韓第六師團長木越中將は來る十六日熊本留守師團出發門司より渡韓の途に就く京城着は十七日の豫定なり（八日前發）

▲韓太子より祝電　韓太子には本日の太皇帝陛下萬壽節に際し祝電を發せられたり（同上）

▲韓太子邸の餘興　韓太子には本日伊藤公以下の祝賀を受けられ後餘興の御催しありと（同上）

▲吉會線と京元線　日清協約に基く吉會線は日清合辦組織なるも京元、湖南線と共に性質を異にするを以て吉會線布設の爲め京元線又は湖南線を中止する必要なしとの說有力なるが當路者間に唱へられ最も勢力あり（八日午前發）

▲我陛下の御祝電　本日は韓國太皇帝萬壽節なるを以て我陛下より鄭重なる御祝電を發せられたり（同上）

▲米國領事更任　京城駐在米國總領事サモンス氏は歸國後横濱駐在領事として赴任すべく其後任として神戸駐在のシドモール氏渡韓すべし（同上）

▲兩協約發表　本日樞密院會議の諮詢を經て間島及滿洲協約發表せる［illegible］（八日）

▲京濱銀行家集會　京濱銀行家は十五日午後六時銀行集會所に桂藏相及大藏各局長を招待し晩餐會を催し同夜桂藏相より四十三年度財政計畫の大要を發表す［illegible］

▲足立謙三氏渡韓　代議士安達謙三氏二三日中に出發渡韓の途に就く（同上）

北京電報

▲露清懸案と清國　清國は露清間に於ける交渉案件の解決を急がんと欲し居れり其未了案件左の如し
一、黑龍江流域に於ける國境航行に關する件
二、清國伊犁に於ける露國人の商法及清國人の歸化に關する件
三、東蒙古湖南駐在の露國兵撤退要求及領事館の建設に對する抗議の件
四、露國ガイアクに稅關を設け清國より輸入する製紙茶等に對し課稅せる事實に關する抗議の事
五、コリンの露國人民增加に對する取締規則制定の件
六、東西蒙古に對する露國の借款及金鑛採掘に關する件（同上）

雜報

●德壽宮の萬壽節　昨八日は萬壽節に付韓皇及皇后には御豫定の如く午前八時三十分御同列にて敦化門出御、照湖橋、鐵橋、銅路、黄土峴、新橋、布德門前路を經て大漢門より德壽宮に行幸啓あり［illegible］の祝辭を申述べられたるが統監代理國分秘書官各國領事等も德壽宮に伺候夫れ〳〵祝辭を呈したり又各皇族、元老、各大臣及各部奏任官以上は敦德殿に於て署名問安したるが尚各皇族、元老、各大臣及各部勅任官以上に對し正午賜餐あり韓皇、皇后には式を了へ午後五時三十分還御相成りたりと

●日清協約の發表

間島に關する分のみ本日統監府より發表其全文左の如し

第一條　清韓兩國政府は圖們江を清韓兩國の國境とし江源地方に於ては定界碑を起點とし石乙水を以て兩國の境界とすることを聲明す

第二條　清國政府は本協約調印後可成速かに左記の各地を外國人の居住及貿易の爲め開放すべし日本國政府は是等の地に領事館若は領事館分館を配設すべし開放の期日は別に之を定む　龍井村、局子街、頭道溝、百草溝

第三條　清國政府は從來の通り圖們江北の墾地に於て韓民の居住を承准す其地域の境界は別圖を以て之を示す

第四條　圖們江北地方雜居區域內墾地居住の韓民は清國の法權に服從し清國地方官の管轄裁判に歸す清國官憲は右韓民を清國民と同樣に待遇すべし納稅其他一切行政上の處分も清國民と同樣にすべし右韓民に關係する民事刑事一切の訴訟事件は清國官憲に於て清國の法律を參照し公平に裁判すべく日本國領事館又は其委任を受けたる官吏は自由に法廷に立會ふ事を得但人命に關する重案に就ては須らく先づ日本領事館に照會すべきものとす日本領事館に於て若し法律を參照せずして裁判せる事ありと認むる時は公正の裁判を期せんが爲め別に官吏を派して覆審すべき事を請求することを得

第五條　圖們江北の雜居區域內に於ける韓民の所有する土地家屋は清國政府より清國人民の財産と同樣完全に保護すべし又該江沿岸には場所を選び渡船を設け双方人民の往來を自由ならしむべし但兵器を携帶するものは公文又は護照なくして境を越ゆるを得ず雜居區域產出の米穀は韓民の搬出を許すも凶年に際しては尚は禁止する事を得べく柴草は舊に依り照辦すべし

第六條　清國政府は將來吉長鐵道を延吉南境に延長し韓國會寧に於て韓國鐵道と連絡すべく其一切の辦法は吉長鐵道と一律たるべし開辦の時期は清國政府に於て情形を酌量し日本國政府と商議の上之を定む

第七條　本條約は調印後直ちに效を生ずべく統監府派出所並に文武の各員は可成速かに撤退を開始し二箇月を以て完了すべし日本國政府は二箇月以內に第二條所載の通商地に領事館を開設すべし

●間島出張所の引拂

間島問題に對しては清韓兩國［illegible］協約締結したるに就き統監府は在間島の齋藤大佐に向け召喚電報を發し［illegible］日歸京の筈なるが向後準備を了し間島に在る［illegible］巡査等皆引揚げたる［illegible］設置する筈にして一［illegible］も統監府は此件に就［illegible］ころありしも何等の［illegible］かりしと云ふ

●一進會の手切金（日本電報通信所報）

一進會が今回韓國銀行株式募集に際し意外の［illegible］込みたるは既報の如くなるが其金額の出途に就ては何人も知る［illegible］例の手切金を充用せるものにして今茲に其顛末を詳記せんに戰役當時同會が我軍の行動に多大の好意を表し犬馬の勞を捧げたるは蔽ふ可からざるの事實にして時の軍司令官長谷川大將は此功勞を多とし臨時軍事費中人件費より四十萬圓の支出を命じ以て彼等に酬ゆる處あらんとせり然るに戰役終了後一種の勞働團に過ぎざりし彼等は旗幟を政界に翻へし宋秉畯氏指揮の下に其勢力を振り騷ざし縱橫無盡に漢城の政界を切り廻はして遂に韓國唯一の大政黨を以て自他共に許すまでに至れり此間に於て十五萬圓を引出したるが殘余二十五萬圓は伊藤前統監の老婆心によりて漫りに費消を許さず深く第一銀行の庫中に藏められてありしが同會の財政は爾來之が爲めに非常の蹉跌を起し其窮狀倍々慘憺を極めたるより會長李容九は直ちに東上して滯京中の伊藤公に面謁し其實狀を訴へ多數會員の困頓を救はれん事を哀願せるに由來涙脆き同公は非常の同情を表し後任曾禰統監に此意を含め該殘金二十五萬圓は一の條件を付して給與せらるゝ事となれり此間に於ける李容九宋秉畯氏等の行動に就ては屢々內地新聞にも傳へられ或は同會顧問として杉山茂丸氏を招聘せんとの魂膽も畢竟該金引出の策略なりとさへ揣摩せられたる位なりしが今回韓銀株募集に際し同株式應募を條件として給付を許されたる次第なりと尚は此紛糾せる成行等に就ては更に折を見て詳報する處あるべし

●木越中將の着期（來る十二日龍山着）

別項東京電報に依れば新任木越六師團長は途中熊本の留守師團に立寄り十七日着韓の如く報ずれども今龍山師團司令部にて聞くに師團長の到着は愈々來る十二日午後二時五分龍山驛に到着する樣確定し居れりと云ふ

●國有地調査員の保護

國有地調査の爲め出張する財務署吏員は危險區域に出入すること屢々にして且つ地方人民中には事業の性質を誤解し往々危害を加ふることあり幾日來平安道にては頻々として此實例ありたるを以て今後度支部にては軍隊、憲兵、警官の保護を乞ふことゝなせり

●清國憲政大臣の入京

清國考察憲政大臣李家駒氏は今八日入港の高砂丸にて仁川着同夜終列車にて入京明九日正午退京仁川より歸清の筈

●公園設置の計畫運動

中部居留鎭泰等は東部工業傳習所附近に公園を設置せんとて目下百方運動中なりと

●典當鋪規則案の審査

一昨七日法令審査會を開き典當鋪規則案を審査したるが不日閣議に提出する筈なりと

▲韓太子の昇任　昨日萬壽節に際し左の如く陞任せられたり
皇太子陸軍步兵參尉
任陸軍步兵副尉　垠

●東煙會社と職工（加藤製造所長の談）

▲職工教育　職工に普通教育あると否とは作業上に大なる相違を來す假令へば函一個を選出し來るにも文字なき者は非常の時間を費やすの損失あり世には一時間を職工數に費やせば夫丈け雇主の損失に歸するかの如く誤解するものあるも教育の結果は第一理解力を增し第二規律の念を養ひ第三用具の取扱を解する等直接間接に雇主を利する大なるものあり之れ京都官營製煙所に於ける自己の經驗に徵するも明白なる事實なれば今回は數千の韓職工を使用し全く風俗習慣を異にする次第にもあり其教育は最も必要と思惟するを以て毎日一時間位を割き大に教育に注意せん考へなり

▲女工必要　煙草製造には最も女工の必要あり殊に年長者は不器用となり作業遲鈍なれば可成妙齡の女子を使役する必要あるも韓國の如き女子の外出を厭ふ國柄にては此一事は甚だ至難なるべきも近時韓人の思想も漸く變化し女學校生徒の如き進んで外界の新空氣に觸れんとする傾向ありといへば却て豫想程には至難ならざるやも測られず併し此點には特に意を用ゐ男工女工の別を非常に嚴にし工場は勿論休憩所も別として取締を充分にし以て彼等を安んぜしめ女子の就職を奬勵する積なり

▲職工の數　も四五千人に上ることとなれば其出替り等も頻繁にして其補充又は取締困難なるべく思はるれど又一方より考れば韓國にては日本の如く諸種の工場なく從て職工の轉々異動すべき途なきと近時韓人の生活困難にして職を求めんとする傾向ある際なれば却て其位置を固守せんとするやも計られずと云々

●東拓會社の貸附總高

東拓會社が金融部の開始より今日までに貸付たる總高は約十二萬圓にて其內の大口は仁川及龍山附近に於て約六萬圓のものあり而して金融部の資金は今日の場合に於て五分の一に限られあれども此制限を開放する爲め我が政府に交渉しあるは事實なりと岩佐理事は語れり（京通）

●驛屯土の整理と引繼

東洋拓殖會社が度支部より引繼ぐべき驛屯土殘額四分の三は目下調査中なるが其場所は水原に九百町步と京城附近に四五百町步は調査濟にて不日引繼ぐ筈なるが引繼濟なる四分の一は目下整理中にて小作臺帳、見取圖等の調製中なりと

●統監夫人の釜山着發

統監夫人の一行は昨朝無事釜山着鳴戸樓に一泊今朝同地發列車にて入京すべしと

●二百十日と農作好況

農作を鑑別すべき二百十日の天候に就き其筋へ到達したる報告書は目下調査中にて詳細を知ること能はざれども之れを綜合すれば本年の農作は各地とも平年作にて其以下に下る地方は皆無なりと

●韓株募集の經過（藤原銀行課長の談）

韓國銀行株募集經過に就て藤原銀行課長の談を聞くに曰く、日韓兩國とも非常の盛況で韓銀設立事務所より只今迄着した報告は凡て電信に依れると又各取扱店も短時間に多數の申込を受付けたる爲め充分整理の屆かず從つて正確の數を知る能はず然し募集額の約三百倍以上に達せしは明なり殊に韓國內にて約八倍に達したるは意外の好成績なり此が原因としては(一)近時日韓兩國共市況の沈衰に伴れ目新しき資金の需要起らず資本家は遊金を藏して放資を手控へ居たりし矢先なりしと(二)從來確實を旨とし來りたる第一銀行の營業方針は無論韓銀に依りて踏襲せらるべきことは一般の確信する所となりたること(三)第一銀行の韓國に於ける從來の利益は今後韓銀の收むる所たること明かになりたるに依り此盛況を呈したるものならん尙今回の申込高は漢湖農工銀行の取扱最も多く天一之に次ぎ第一銀行は三位を占む是れ最初申込人は先づ一銀に押し寄せ我先きに申込まんと焦りたるも何分申込人多數なりしを以て天一漢湖に押寄せ兩行共一時に非常に繁忙に見受けられたると韓人の申込意外に多かりしと全國六ケ所の農工銀行中獨り漢湖農工銀行のみ取扱店に指定せられたる爲め地方農銀を通じての申込も多額に上れり又市內にては小口の申込多かりしは賀すべき現象なり

●東拓漁業と下受

東洋拓殖會社が平安道沿岸に於ける漁業權を獲て近々同業に着手するならんとは現下專ら風說せらるゝところなるが右は同會社が直接漁業を經營するには非ずして會社は只漁業權に對する權利料を收め眞の經營は所謂下受人に依つて爲さるゝものなりと云ふ因に目下下受人と略ば決定したるは水產組合の岡十郎及び元京城日報社長伊東祐侃の二氏なりとの事なり

▲無職業者三千人　其筋の調査に係る日本人の渡韓者は昨今一ケ月平均九千人にして歸國するもの約六千人の由なれば一ケ月平均三千人の發展を見つゝある割合なりと但し韓國に出入するものは季節の如何に依り多少異同あり右は氣候の適順なる時の統計にして斯の如く渡來者の夥多なる結果として自然無職業者を生じ京城に於ても約三千人は寄食者及無職者也

●大同日報披露宴　豫て創立計畫の噂ありし大同日報は愈々其第一號を去る五日發行し十九日より引繼き發行の筈なるが發刊披露の爲め七日午後七時日韓同業者を明月館に招待したるが來賓は皇城新聞社長を初め卅餘名にして席上安明善氏の挨拶あり次で皇城社長帝國大韓兩社總務の答辭演說あり主客歡を盡し散會したるは九時過ぎ

●關稅收入の減少　關稅收入の減少は貿易の減少を意味するものなり今左に隆熙二年八月と同三年八月との比較を掲げん（單位圓）

科目	三年	二年	增減
輸出稅	二四、九一二	四六、四八六	減二一、五七四
輸入稅	一七一、三三四	三二一、三二〇	同一四九、九八六
噸稅	五、二〇五	三、五六〇	增一、六四五
雜收入	五、三三四	六、六九〇	減一、三五六
計	二〇六、八二四	三七八、〇五六	減一七一、二三二

にして更に一月以降の累計額左の如し

科目	三年	二年	增減
輸出稅	三六九、〇三〇	四二三、四九九	減五四、四六九
輸入稅	一、三五九、五三一	一、五三六、〇五二	同一七六、五二一
噸稅	五二、八六七	六二、〇七〇	同九、二〇三
雜收入	四〇、九〇五	五七、七〇八	同一六、八〇三
計	一、八二二、三三三	二、〇二一、三六八	同一九九、〇〇〇

●教監會議功果　各道に於ては過般普通學校教監會議を開催したるが各道に於ける風俗習慣に鑑み教育事業の振作を圖りたることとて其效果蓋し鮮少ならざりし由にて何學部にては同會議事項を集錄し各道に配布し以て教育事業の參考に資する筈

●任度相の快氣祝　任度支部大臣は統監の諭告に從ひ遂に留任することとなりたる由なるが度相は辭意を決してより病氣の故を以て引籠り居たれば今遽かに登廳執務するを氣苦しと爲し不日各大臣其他を招待して快氣祝をなしたる上にて登廳の筈

●本年度の救恤金　隆熙三年一月より今に至る全道の罹災救恤高左の如し

（道別）	致死	同上救恤	罹災戶	同上救恤金
忠南	八	六〇、〇〇	二〇九	六四、七〇
全北	…	…	五	一、五〇
全南	…	…	九三	二七、六〇
慶北	四	三〇、〇〇	二七	八、一〇
慶南	四	［illegible］	九	二、七〇
江原	一四	一〇、五〇	一〇	一四、〇〇
平北	…	…	三	九、〇〇
計	三〇	二一、五〇	三五五	一二七、六〇

●煙草工場開始期　工場に擬定せる建物何分古き建築にして修理改造に少からざる手數を要するを以て目下加藤所長の如き夕七時頃迄も出張して指圖し完成を取急ぎ居るも開業の日取は未だ期すべからずと

●西島中將留別宴　今般後備役に編入されたる西島中將は來十一日午後六時三十分より統監府高等官駐箚軍及憲兵隊幕僚韓國側大官を花月に招待し留別會を開くと

●學務主事の召集　近々の中各府、道、郡に配置せる學務擔任の日本人主事を召集して教育に關する會議を開くべし

●伊國領事の渡日　在京伊太利領事カサテ氏は去五日三女を伴ひ長崎へ向へり

●孫澤孃歸國日取　ソンタク孃は愈々來る十五日に歸國の途に就く由なりと

●敍任辭令　左の通り辭令あり
任判事（奏任四等）　渡邊仁平
同上　森田秀治郎
同上　原田隆弘
補榮川區裁判所判事（七級）　大多尚文
補成川區裁判所判事（同）　茂手木昌三郎
補仁川區裁判所判事（八級）　喜頭兵一
補平壤區裁判所判事（同）　水野重功
補大邱區裁判所判事（同）　里見寛二

●漢字新聞の押收　浦鹽にて發行する大東共報第六十三、六十四兩號は發賣頒布を禁止せられ該紙は其筋に押收せられたりと

●一進會評議員會　一進會本部にては來る十日評議員例會を開き大韓協會及西北學會の連合の件に就き協議する筈なりと云ふ

●吉田檢事長入京　大邱地方裁判所檢事長吉田雄六郎氏は七日入京巴城館に投宿す

●白耳義領事下仁　白耳義總領事バンカート氏は去る六日仁川に向け出發したりと

●大韓工業會移轉　大韓工業會にては今般事務所を北部大安洞へ移轉したりと云ふ

公人私人

▲ションズ（米國新聞記者）七日退京仁川へ
▲石川啓（熊本縣事務官）同釜山へ
▲和智熊太（同縣技師）同上
▲緒方一三（同縣水產組合理事）同上
▲田結棚三郎（慶南道書記官）同馬山へ
▲室喜一郎（江陵區裁判所判事）七日入京

寄書

●證據金の振替　一申込人

記者足下　小生は韓銀株應募申込の一人にして同株前途の有望なるを思ふものから何分にても手に入れんと企てたるものに候而して內地にては大藏大臣の命を受けたる松尾創立委員長より各取扱銀行へ警告あり當地にては曾禰統監より各取扱銀行へ前以て警告ありたるを以て今回に限り證據金の振替は到底出來ざることゝ觀念し苦心慘憺漸く證據金を調へ若干株を申込みたる次第に候然るに昨今坊間に傳はるところに因れば漢湖農工銀行は特に一部の人々に向つて六萬株に對する三十萬圓の證據金の振替を許したる由斯は近頃聞捨て相成難き話に有之候若しも漢湖農工銀行にして斯る利便を與へらるゝものと知れば小生の如きも同行に就て百萬圓の振替を賴み二十萬株位は申込べかりしに惜しきことを致し返す返すも殘念に有之候并は兎も角として漢湖農工銀行が六萬株に對して振替を爲したりとの事は世間の問題と相成申候若し右振替にして事實眞なりとせば同銀行は曾禰統監や委員長の警告を無視したるものと言はるゝも何等の遁辭を有せざるに至らんかと被存候前には瓦斯株を買占めて奇利を博したる事ありと噂せられたる同行が今亦振替禁制を破りたりとの譏を受くるに至れるは何に因るか思ふに同行重役支配人は今日の際世人の疑惑を解くの手段を探るの責任ありと被存候

●各派聯合の懇親會開催
●遊說團體と商務組合
●登記事務と吏員增加
通牒廢止されたる武官學校器具機械は一度

成連合して一致の歩調をとるべしとの事を議せしより此一事は直ちに各派接近の動機換せば必らず得る所あらんとの議漸く熟し近々日をトして一大懇親會を開催すべしと

織に係る大韓商務組合と協同一致の行動を採るべく協商中なりと云ふ

事務の敏活を圖る筈なりと

◉武官學校用器と學部

▲相談の相談▼

(何でも御相談に應じ升)

◎河村君 よ君は宿所宛返事を求められたるも未だ悉さゝる點あり判斷の材料不足せり一應來社せらるれば好都合なるも現在記者の聞ける丈の材料に依りて判斷せんに足下の懐を覗へるものにはあらぬか兎に角未だ年も若いことだから二三年は辛抱なさい封入の三錢郵便切手は確かに預り致して置く(係)

◎問 生は尋常科准教員たる免許狀を有するもの其後無集配三等局へ約三年勤續常に自餘を怠らさるもの渡韓後既に半月普通行商の資をだも有せず普通勞役困難に堪ゆ目下躊躇の際何か恰好の向きも無之哉何卒御指示方回答に接し度右御相談旁々御依賴申上候草々不一(エッチエイ生)

◎答 住所姓名を明記し本紙無料紹介欄へ係宛依賴せらるべし、序に申上ぐるが當なしで渡韓せられたのですが無謀でしたな今日迄のは兎に角今日此后斯る無意味無謀な活躍は注意して成さらぬ樣されたい切に之れを忠告して置く(係)

◎問 僕は本年の一月頃田舍より京城に參つて何か良い職業に從事したいものと一生懸命新聞の廣告欄に注目して居るが一として適當なる奉公口を未だ見付出し得ない僕は元來韓語通緖に熟達し尙法律事務にも心得がある係さん何處か良い勤口世話して下さい(エーエス生)

◎答 鄕書表書の所に居られるのなら君の希望通りぢやないか若し此れが君得意の奉公口でなければ君の云ふ法律事務に心得があるも可笑しいもんだ、尤も此家の家風が君に適當でないと云ふのなら格別である、兎に角之れは本係の袖者取扱の範圍外であるから無料紹介欄係宛申し込まるべしである(係)

●滊車中の虎列拉

▲開城へ下車せし客人

安東縣、新義州方面の虎列拉は益々蔓延し病勢は漸次南下しつゝある有樣なるが去る七日朝新義州發列車に乘込み開城に下車し同地大和屋旅館に投宿せし某は虎列拉に罹り居たる事判明したりと當局者は此際宜敷く鐵道に關する防疫を勵行すべきなり

◉虎列拉と各人の注意

▲野菜物に注意すべし

安東縣新義州に於ける虎疫蔓延の樣は世人をして戰慄せしめたるが恐るべき病は終に我京城にも發生して日韓人各一名を殪したり而して京城に起りたる虎疫の病源は安東縣方面のものとは全く關係なき特發性なるも而も京城に於て日時を同ふして同患者を出したるに就ては其關系統なくんばあらず當局者は之が研究に努めつゝあるも未だ確實なる結果を發見するに至らず或は支那人間に病源ありて野菜商人が病毒の撒布をなしたるものにはあらずやと思はるゝ節あり此際暗流の潜める個處は支那人間最も疑はしきものなれば各人共此點に注意を要すと某當局者は語れり

◉姙娠で男を欺く 鹿兒島縣鹿兒島市山口馬場町當時明治町三丁目百四十八番戶石工河野三郎內縁の妻税所いね(二〇)は七日午後十一時頃シヨボ降る雨に濡れ澁涙しつゝ本町一丁目裏通邊を徘徊せる擧動の不審なるより巡回中の巡查が呼止め取調べしに本人の言によれば昨年十一月より前記河野と內緣を結び爾來同棲し居りしが同夜故なく毆打せられたる上追ひ出され行き先なきに此の始末との事に河野を呼び出し取調べたるにいねは本年五月より姙娠せりと云ふにぞ大に喜び居り又仲間の者も之を聞き既に祝ひ物を贈られし者さへあり然るに姙娠して最早や四箇月にもなるに一向姙娠らしき樣子の見ゑざるに尙は姙娠なりと稱し家事を働かず徒食するより仲間の者等も不審に思ひ種々の噂して嘲り笑ふ樣になりしかば同夜其實否を問糺したるに全く姙娠は虛僞なりし事判明したれば河野は大に怒り仲間の者へ詫びて來いと云はれしもいねは前記の如き申立てをなしたる事判明し其の不心得を諭し將來斯る事なからん事を戒しめて河野に引き渡されしと

いはく集

▲曾禰統監曰く 奧の滯在中はみんな靜に

▲貴婦人曰く 子爵夫人へれ見舞には何を齎發しましようか

▲統監邸僕曰く 當分明烏は聞かれぬ哩

▲桐原署長曰く 虎列刺來襲各員努力せよ

▲久能支配人曰く 漢湖農工が振替したはソリヤホントでないのであるので御座る

▲粹客某曰く 長唄のボンタが中檢から再現したソウダボンタ返せばまた來るボンタか

◉安東縣から持逃 一昨日安東縣警察署より當地南部署へ松山きようなるもの同地にて金腕輪及び金指輪を拐帶逃走せしに付き取押あり度き旨照會し來りしを以て南部署にては中井刑事を南大門停車場に派して警戒中同日午後十時四十分義州よりの上り列車にて同驛に下車せるを難なく取押へ引致取調べをなすに同人は靜岡縣濱松町字寺島十八番地松山きよう(三二)と云ひ件の腕輪指輪共所持し居るも拐帶抔したるものにては無之自分は安東縣五番通五丁目に居住して某湯の師匠をなし居りしものなるが同地の韓人延某に對し前記二品を抵當として金三十五圓を貸し與へたりしが今度同地引きを揚ぐる迄其の金を返さゞるに依り其儘持ち來りしものなりとの申立なるも今尙は嚴重取調べ中なりと

◉惡疫發生と消毒 仁川萬石洞木村會社に一時通勤し居たる滋賀縣生れ宮川貞吉(五二)と云ふは一昨日朝下痢症に懸り淺井醫師の診斷を受けたる所午後に至り擬似虎列拉となり午後八時終に死亡したるが仁川署にては民團と協力し大消毒法を施行したる由なるが患者貞吉の住宅は周圍材木を以て圍まれ人家より非常に離れ居れば傳染の憂へは萬々なかるべく因に其の病系は判明せずと云ふ▲又仁川花村に一種の怪し氣なる疫症の流行し死亡者既に數名に達し居る事は昨紙詳報の如くなるが仁川署にては虎列刺菌を發見せざるも兎に角激烈なる流行病なるを以て一昨日より數名の巡査を派し同村內の大消毒法を勵行したりと

◉猛虎婦人を咬む 本月廿二日午後八時頃全羅南道順天郡尙西花木里北方仙巖寺山脈より猛虎一頭顯はれ同里居李石萬飼育の牛一頭を拉去して山中に逃れ入り又同廿一日深夜光陽郡玉龍面屛岩里居本翊三の妻金召史(四五)が自宅に安眠中突然一頭の猛虎襲ひ來り驚き逃げんとする金召史の肩先に咬付きたるにぞ金は悲鳴をあげて救を叫び附近の人々集り來る人聲に驚き猛虎は逸走し去りたり金召史には應急の手當を施し順天邑に伴ひ來り守備隊にて治療中なるが到底生命覺束なかるべしと附近の居民は爲めに人心恟々虎狩の協議中なりといふ

◉仁川署の賭場狩 仁川宮町派出所米里巡查は一昨日寺町二丁目和田方にて賭博をなし居る事を探聞したれば本署に急報し阿比留巡查の應援を得て午後三時頃同家に踏み込みたる所山口縣生小田なつ(三三)廣島縣生れ寺町二丁目舟崎みつよ(三二)山口縣生れ柳原梅松(五三)及び長崎縣生れ寺町二丁目大久保喜作(六三)の四名車座に成りて弄花の最中なりしかば片端より捕縛せんとしたる所梅松は風を喰らつて逃走したるが喜作、みつよ、なつの三名は捕縛拘引せられたるが梅松は其の後寺町二丁目に潛伏し居たるを發見引致の上目下取調中

◉鐵道に石を置く 一昨午後二時頃保線係り線路工夫が巡視中青坡を離る約三丁の地點に於て線路上に周圍一尺余の石二個を橫へあるを發見直ちに取除き之が加害者を搜索せしに右側の提上に韓童二名潛伏せるを認め引捕へて取調べしに全く此奴等の仕業と判明せしも別に惡意ありてせしものにては無く戲れに提上にありし該石を墜落せしめしものなれども一應青坡派出所へ同行する途中隙を覘ひ逃去りたりと

◉藝者を裸にした男 此の寒空に向つて可憐相にも仁川藝者の多くは裸体にして水鼻と涙を代り番互にならせつゝある不埒千萬なる洗濯屋岡本嘉吉(三〇)は懲役一年半に處せられたりと聞いた被害藝者の一人は寒さにガタ／＼慄へ乍ら妾達の思ひ火でも風を冒て死ん終ひますよハックショイとは余程寒いと見へたり

◉女竊盜處刑二件 仁川萬石洞にて竊盜を働らきたる前科三犯の女泥棒廣島縣生れの山縣かめ(三四)は一昨日公判の結果理事廳にて懲役二年に又濱町二丁目沖津屋にて宿泊中の俳優篠田の指輪を竊取せる川本はな(二〇)は二ケ月の懲役に處せられたり

◉新町の患ひ女郞 本月七日の新町女郞の定期健康診斷成蹟は入院が京城樓笑子第一樓本店春香清月樓住の江大桝屋小蝶月下樓小三高島屋千代子南山樓長重の七拍子休業通院は繁榮樓の紫竹高島屋の高砂南山樓三ツ咲山遊樓房子、初遊

◉十七錢で懲役五年 仁川に於ける新舊統監送迎會のありし當日日本公園地通りにて通行人の懷中より大枚金十七錢を掏り取たる前科六犯の掏摸眞木保(三四)は一昨日理事廳裁判所にて懲役五年を申渡さる

◉白兎が迷ひ込んだ 去る五日午後三時頃旭町二丁目大山龜松方の奧庭へ白兎一疋飛び込みたるを同家に飼養し居れりと南部署へ届け出でたりと

◎江戸調情歌

△擣●衣● うろ子

待どきぬたのれと信絶て

ひとり身に泌む小夜嵐

又も訛して今宵もきぬた

ぬしは嘘をばつきの影

世帶なれては調子も揃ひ

ふたりこゝろがあい砧

うつて替つた貴郞の擧動

此頃れ來獨がどう擣衣

打つや砧のれだなり同士

情誼もよし戶の片田舍

◉九十九の返り咲き 大阪市東區平野山二丁目四十二番地平民由三郎二女村井ふさ(三三)は以前新町山遊樓にて九十九と名乘り稼業中本年六月中廢業歸國せしが再度渡韓し去る六日より又々山遊樓より浪花と名乘つて出たり

◉增築後の此の花 南山町一丁目の待合此の花は先般增築を爲して裏門は旭町百三十銀行の上手に設け南山町より旭町を橫斷せる廣大なる邸宅となり諸般の設備も完成し且つ頗る輕便主義を執り居れりと

◉秋薔草花無代配布 既記の如く岡山縣邑久郡長船農事試驗場草花部送費袋代郵劵十錢にて送與する西洋新草花は左記の二十種なる由

○新船來冬咲朝顏 ○同眞黑色極大輪パンシー ○同極美萬重駝鳥羽形翠菊 ○同狂咲極大輪撫子 ○同最大輪矮生ベチユニヤ ○同アチモチ ○同八重アクイリジヤ ○同ダブリウシレチ ○同ムンニングフラワイド ○同最優等ボツピー ○同ニユジヤイアンドパンジイ ○同極大輪天人菊 ○同新種優等翠菊 ○同優等ザイアンサス等なり

●配達出拂 午後七時三十分

●演藝

▲歌舞伎座●●● 彰義隊一座本日の替りは『孝士の磐』全七場にして重なる配役左の如し

壽生山田(仁科)水野女房れたき、大塚女房れ杉(桂木)むらくものれむら(河野)水野三平(角村)矢場女つじ(中村)兒分種三(大和)巡查高木(松村)矢場女文子(天倖)若者久吉(栗島)娘とよ(米村)矢場女すみれ(三島)白痴い爲吉(美崎)黑金久次(篠崎)大塚金三郎、同太郎(愛澤)

吉凶鏡 本町五丁目 三一館判斷

九月九日舊七月廿五日七赤先勝壬申さつ

△一白●躓達の日心機一轉方途を改變して効を奏するあり△二黑●萎微不振の日とす常事は可土木建築鑛山の業は吉△三碧●離隔阻隔の日殊に取引賣買等留意すべし△四綠●小兒の身上に留意し交際上間違又は隙端起り易し△五黃●舊常舊產を守り非分を選ばざるときは大過なし△六白●爭論證劵印章帳簿に注意し談論中激して紛擾を來す勿れ△七赤●陷害讒謗防ぐべし恩を施し仇を作るがごときあり△八白●必ず處理處辨すべき事務を等閑に付して其機を逸するあり身神銳敏の活動を要す△九紫●隔絕離間爭論あり凡て厄運の日とす但し鎔金鑄金の業には吉右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

▲隣町一丁目小野雜貨店の番頭君主人に秘密で金のかゝらぬ道樂を行る、夫れが爲めに思はず夜の更けることもある話しは此所に起る▲現に五日の夜も無論主人には秘密で罪のない夜遊びを行つて寢に就いたのは午前三時過ぎであつた相な▲翌れば豫定通り六日の朝である、何日の通りに店の飾り付けを濟ましてヤレ安心と椅子に腰を下した▲が天罰？は覿面である、午前八時ならざるに朝涼の店頭に首を揃いでの大鼾▲鼻から提灯を出さぬのが未だしもアングリ開いた口からは御叮嚀にも涎が流れてる始末、總れた女が有つたら大變百年の戀も醒め果つべき姿、番州の門戸開放とは此れで御座いさ洒落られもせぬ▲無駄口は扨置き夫れと見た近所の惡戯者好機逸すべからずとあつて白米一摑を其口へ抛り込んだ▲と嘸吃驚して飛び上りもするかと思ひの外、モゴ／＼と口を動かした奴さん『れ家はん今朝の飯エラウ心がありまんナ』ムニャ／＼とは罪がなくつて好かつた▲とは半分以上は嘘らしい誰れかの惡戯なるべし(係)▲皆春樓の小勝さん大〇組の〇崎さんを好い加減におやつツて置て下さい音が悪いたら可哀想ですよ(其親類女)▲敬神家に答ふ九月四日は確かに友引です元來此六曜星は舊曆より繰るものにして正七月の朔日が先勝なり故に九月四日は舊七月廿日に當る前十九日が先勝廿日は必ず友引となる尤も業務多端の節疎漏なしとも斗られぬが本館は専門ですから理路整然たる判斷なる積りですから御安心の上御讀み下さい(本町五丁目三一館)▲當紙掲載の吉凶鏡は讀者の参考の爲め頗る有益の者に候も讀者の過半は碧、白、黒の何たるを解せぬ者候はん生も其一人に候間一より九まで委しく說明なし下され候はゞ幸甚々々(若關生)▲韓銀株の募集に付京城では農工銀行が其取扱數の一番多き譯は敢て韓國人の申込者が多かつたのでも何でも有ません度支部が官吏の義務貯金を韓銀株にする爲めに申込んだのださうです(天眼生)▲度支部は一方では經濟界を攪亂する恐れありとかで各銀行に韓銀株應募の爲めに振替貸付をなすを禁じながら自分には農工銀行にある遊金を利用し株の申込を爲すとは實に言語同斷だ宜しく當局者に問責すべしだ(問責生)▲僕は君より俸給が多いから食ひたい時は買て食ふから持つて歸れとは或人が下僚より進物を受け之れを退けたときの曰くだ人の上位にある者は咀嚼す可き言ではないか(薄給生)▲生は去る三月市內某洗濯屋と稱する者にシャツ二枚依賴せしに未だ持參せず其筋の注意を希ふ(被害生)▲五葉連君は毎日雜報の三面記事すら咀嚼する能力なしと見ゆ今一度讀んで見玉へ夫れでも分らねば誰れかに聞くサ(キング)

◉天氣豫報(自八日午後六時至九日午後六時)

北西の風曇後晴

七日(華氏) 最高溫度 八三、八 最低溫度 六二、一

廣告

各種洗濯石鹸 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髪、諸工業用
京城旭町二丁目(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職 多年小學教育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず 氏名在社(四三二)

●雇はれ度し 中學二年修業年廿五個人商店に雇はれたし 氏名在社(四三五)

物件部

●求宅地 官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし 京城旭町一丁目五十三ノ四 安藤

○龍山電話格安に至急讓渡したし 氏名在社(四三三)

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし 氏名在社(四三四)

●迷犬 雌犬毛色頭及尾茶褐色胴体は白黑斑點有迷込有飼主心當ノ者は至急本欄係へ

廣告

本舗 丹平商會本店

腦病全治新藥

健腦丸

逆上・頭痛・腦膜炎・腦充血・通じ悪く總て腦病・神經病一切に驚くべき奇効あり

醫學博士島村先生御証明

藥價 [illegible]

登錄商標

支店 東京 [illegible] 丹平商會支店

●消閑之清遊●
每日午後 京城明治町一丁目
開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城碁會
(大和湯前○万隣)
市中之仙境

眼科專門
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
(電話三三)

入院隨意
各科診療
松岡醫院
南山町二丁目
電話六七五番

折箱
製造元
京城明治町一丁目 五十番戸
箱信事 (漢城病院下横へ入ル)
鳥山商店

消毒用デシンフォルマリン外一式
病虫害驅除豫防藥一式
工業用藥品一式
農具種子苗木肥料類
京城本町二丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

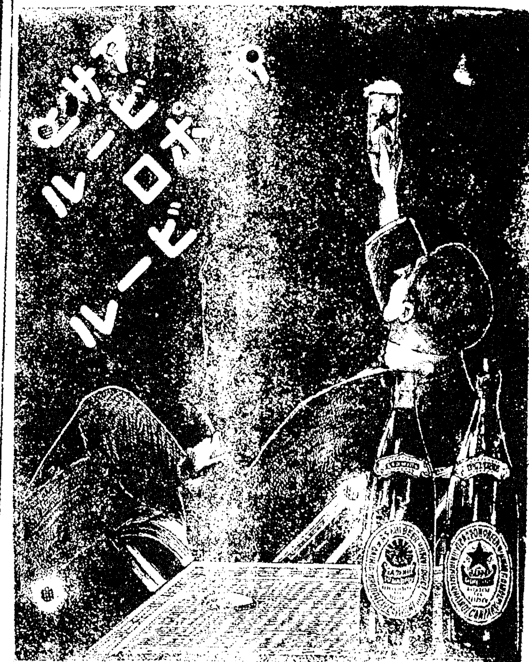
綿わた(たやすくうります) 綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
御問屋
京城明治町一丁目四ツ角
唐川商店
電話二六一番

京城南山町一丁目病院下 第百三十銀行横ヲ入ル
待合
增築落成
花の主
電話一〇二五番

藥學博士丹波敬三先生發明
消毒 防臭 殺菌劑
クレシン
韓國內部衛生課御試驗濟
韓國各官衙 統監府各官衙 陸軍各官衙 御用品
販賣元 東京 合資會社 高田商會銀座販賣店
韓國特約店京城本町 山岸天佑堂藥房
(電話三百七十二番)

●花柳病一般、痔疾注射療法
神戸資生分院
京城梅毒病院
新築落成 入院隨意
京城相生町(南門湯隣)
院長 元兵庫縣福原驅梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平

明治廿年七月創立●京城代辦店 本町四山口呉服店 電話九番
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番



時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長一〇七番)

旅館
客室は淸潔にして完全食事は御好みにより和洋何れにても調進萬事御便利に御扱ひ可申候
西洋料理
食堂は大小の數室あり御人數の多少に拘はらず迅速調理御用に應じ可申候
京城南山町三丁目
(元日本人俱樂部)
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す蜂場(?)に此に留意し好良の食料を給す
●搾場搾取の牛乳を受飲せらるゝ諸君に最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし
販賣元 京城本町五丁目(電四七番) 松尾支店
搾取所 京城東四軒町(電七五番) 松尾牧場

東京
正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升
本店東京 大和屋
京城大和町一丁目日の出橋際
藤井出張店
電話二百〇五番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジャ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、◎精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

代書 京城本町二丁目南部警察署前 成巧舘代書部
ゴム印彫刻 成巧舘彫刻部

營業科目
活版、石版、銅版各種印刷 帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷 諸材料販賣

日韓印刷株式會社
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三三三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり
待合 貸席 入船
京城南山町一丁目
電話千百三十五番

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 九月二十六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月 日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 九月十四日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、城津、清津行 立神丸 九月
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月 [illegible] ▲六ヶ月前金貳圓 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 [illegible]久鍬一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番